

## 武雄市新文化交流施設エリア整備基本設計業務公募型プロポーザル審査結果

### 1 選定結果

- (1) 優先交渉権者 坂本・o+h設計共同企業体
- (2) 次点交渉権者 石橋・環境デザイン設計共同企業体

### 2 選定の概要

武雄市新文化交流施設エリア整備基本設計業務を委託するに当たり、高度な設計能力及び豊富な経験を有する設計者を選定するため、武雄市新文化交流施設エリア整備基本設計業務公募型プロポーザル実施要領（以下「要領」という。）に基づき参加資格を満たす者を募集し、新文化交流施設エリア整備基本設計候補者選定委員会による選考を経て、優先交渉権者及び次点交渉権者を選定しました。

### 3 選定委員の構成

	氏名	
委員長	三島 伸雄	佐賀大学 副学長 理工学部 教授
副委員長	小坂 智子	長崎県美術館 館長
委員	朝廣 和夫	九州大学大学院 芸術工学研究院 教授
委員	中野 工	佐賀県 県土整備部 施設整備室 副室長
委員	北川 政次	武雄市 副市長

### 4 選定の経過

- |       |          |                       |
|-------|----------|-----------------------|
| 令和 5年 | 5月19日（金） | 公募の公告                 |
| 令和 5年 | 6月13日（火） | 一次審査提出書類等の受付期限        |
| 令和 5年 | 6月16日（金） | 一次審査                  |
| 令和 5年 | 7月18日（火） | 技術提案書等の受付期限           |
| 令和 5年 | 7月23日（日） | 二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング） |

### 5 選考方法

#### (1) 一次審査

プロポーザル募集の公告を行ったところ、参加資格を有する3者から一次審査書類等の提出を受けて、次の項目で審査を行いました。

- ① 事務所としての業務実績
- ② 配置技術者の評価（資格・経験年数）
- ③ 配置技術者の評価（業務実績）
- ④ 配置技術者の評価（CPD単位取得状況）

採点基準にしたがい参加表明者の実績等について評価・採点を行いました。すべての企業体を二次審査対象者（ヒアリング対象者）にすることを決定し、技術提案書等の提出を求めることとしました。

## (2) 二次審査

技術提案書等によりプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、次の3つの課題についての確性、創造性、実現性の視点から審査を行いました。

- ① 基本計画に基づくエリアコンセプトを体現する施設の機能について
  - ・日常的なにぎわいを生み出すための施設配置・空間づくりなど
- ② 基本計画に基づくエリア内外に回遊性を生み出す外部空間について
  - ・エリア内外の回遊性に留意し、訪れやすい、まちに開かれたランドスケープデザインなど
- ③ 基本計画に基づく環境に配慮した持続可能なエリア整備について
  - ・構造・工法及び素材等の工夫による建設コストの縮減を考慮すること

## (3) 審査結果

二次審査の得点を基に優先交渉権者及び次点交渉権者を次のとおり選定しました。

	企業体名称	得点
優先交渉権者	坂本・o+h 設計共同企業体	107.4
次点交渉権者	石橋・環境デザイン設計共同企業体	96.0

## (4) 優先交渉権者の選定理由

全技術提案とも、自然や歴史に囲まれた本敷地に対して、各々が有する技術力を発揮して提案していただきました。本プロポーザルにおいて求められた周辺環境に対する配慮や同建築物の機能に関する課題に対して、提案者としての課題認識・解決力、技術提案の柔軟性、将来性等を厳正かつ慎重に審査した結果、優先交渉権者、次点交渉権者を選定いたしました。優先交渉権者選定に至った主な理由は次のとおりです。

敷地周辺の広がる自然と歴史に対して最も配慮がされた技術提案として評価されました。特に、各々の方向に広がる自然と歴史を適切に分析・評価し、広場を柔らかく設け、内部に取り込み、期待される武雄市民等の文化的活動が展開されていくことをまとめた技術提案力に、若々しい感性と可能性を感じることができました。武雄の子供達が夢を育んでいく場として、一つの将来像を提示してくれたと思います。質疑においても、周辺環境、機能等に関する質問に対して適切かつ分かりやすく回答し、技術者としての対応力を高く評価することができました。

今後、基本設計においてさらにアイデアが付加され、より良いものとなることを期待します。